

1 $a = \sqrt{5} + \sqrt{3}$ とおく。以下の問いに答えなさい。

- (1) $a + \frac{2}{a}$ の値を求めなさい。
- (2) a は無理数であることを証明しなさい。ただし、必要なら $\sqrt{3}$ や $\sqrt{5}$ が無理数であることを用いてよい。

解説

$$\begin{aligned} (1) \quad a + \frac{2}{a} &= \sqrt{5} + \sqrt{3} + \frac{2}{\sqrt{5} + \sqrt{3}} \\ &= \sqrt{5} + \sqrt{3} + \frac{2(\sqrt{5} - \sqrt{3})}{(\sqrt{5} + \sqrt{3})(\sqrt{5} - \sqrt{3})} \\ &= \sqrt{5} + \sqrt{3} + \sqrt{5} - \sqrt{3} \\ &= 2\sqrt{5} \end{aligned}$$

- (2) a を0以外の有理数と仮定すると、 $a = \sqrt{5} + \sqrt{3}$ より

$$\begin{aligned} a - \sqrt{5} &= \sqrt{3} \\ \therefore (a - \sqrt{5})^2 &= 3 \\ \therefore a^2 - 2\sqrt{5}a + 5 &= 3 \\ \therefore 2\sqrt{5}a &= a^2 + 2 \\ \therefore \sqrt{5} &= \frac{a^2 + 2}{2a} \end{aligned}$$

a は有理数より、右辺は有理数だが左辺は無理数となり矛盾する。
よって、 a は有理数ではない。つまり、 a は無理数である。

2 円C: $(x-2)^2+(y-2)^2=1$ について以下の問いに答えよ。

- 原点Oから円Cに接線を引くとき、傾きが小さい方の接線を ℓ とし、その接点をAとする。 ℓ の方程式とAの座標を求めなさい。
- 直線 $y=\frac{3}{2}x$ と円Cとの交点のうち、 x 座標が大きい方を点Bとする。Bと(1)のAおよび原点Oとで作られる三角形OABの面積を求めなさい。

解説

(1) ℓ は y 軸平行な直線にはならないので、 $y=mx$ とおくと、円Cと接するので

$$\begin{aligned} \frac{|2m-2|}{\sqrt{1+m^2}} &= 1 \\ \therefore |2m-2|^2 &= 1+m^2 \\ \therefore 3m^2-8m+3 &= 0 \\ \therefore m &= \frac{4 \pm \sqrt{7}}{3} \end{aligned}$$

傾きが小さい方が ℓ より、 $\ell: y = \frac{4-\sqrt{7}}{3}x$

円の中心をP、 ℓ の方向ベクトルを $\vec{\ell} = (3, 4-\sqrt{7})$ とすると

$$\begin{aligned} \vec{OA} &= \frac{\vec{OP} \cdot \vec{\ell}}{|\vec{\ell}|^2} \vec{\ell} \quad \dots\dots(*) \\ &= \frac{\begin{pmatrix} 2 \\ 2 \end{pmatrix} \cdot \begin{pmatrix} 3 \\ 4-\sqrt{7} \end{pmatrix}}{3^2+(4-\sqrt{7})^2} \begin{pmatrix} 3 \\ 4-\sqrt{7} \end{pmatrix} \\ &= \frac{7-\sqrt{7}}{4(4-\sqrt{7})} \begin{pmatrix} 3 \\ 4-\sqrt{7} \end{pmatrix} \\ &= \begin{pmatrix} \frac{3 \cdot (7-\sqrt{7})(4+\sqrt{7})}{4 \cdot (4-\sqrt{7})(4+\sqrt{7})} \\ \frac{7-\sqrt{7}}{4} \end{pmatrix} \\ &= \begin{pmatrix} \frac{7+\sqrt{7}}{4} \\ \frac{7-\sqrt{7}}{4} \end{pmatrix} \end{aligned}$$

よって、 $A\left(\frac{7+\sqrt{7}}{4}, \frac{7-\sqrt{7}}{4}\right)$

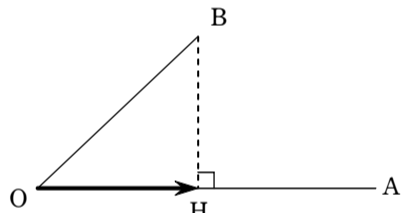
参考 (*)について

・正射影ベクトル

右図において、 \vec{OH} は \vec{OB} の \vec{OA} への正射影ベクトルといい

$$\vec{OH} = \frac{\vec{OA} \cdot \vec{OB}}{|\vec{OA}|^2} \vec{OA}$$

と表せる。



別解 円の中心をPとすると、 $\vec{PA} \perp \vec{OA}$ より $\vec{PA} \cdot \vec{OA} = 0$

ℓ の方向ベクトルを $(3, 4-\sqrt{7})$ とすると、 \vec{PA} の方向ベクトルは $(4-\sqrt{7}, -3)$ となる。

$$\begin{aligned} \text{また、} |\vec{PA}| &= \sqrt{(4-\sqrt{7})^2 + (-3)^2} \\ &= \sqrt{8(4-\sqrt{7})} \\ &= \sqrt{4(8-2\sqrt{7})} \\ &= \sqrt{4(\sqrt{7}-1)^2} \\ &= 2(\sqrt{7}-1) \end{aligned}$$

となるので

$$\begin{aligned} \vec{OA} &= \vec{OP} + \vec{PA} \\ &= \begin{pmatrix} 2 \\ 2 \end{pmatrix} + \frac{1}{|\vec{PA}|} \cdot \begin{pmatrix} 4-\sqrt{7} \\ -3 \end{pmatrix} \\ &= \begin{pmatrix} 2 \\ 2 \end{pmatrix} + \frac{1}{2(\sqrt{7}-1)} \cdot \begin{pmatrix} 4-\sqrt{7} \\ -3 \end{pmatrix} \\ &= \begin{pmatrix} 2 \\ 2 \end{pmatrix} + \frac{\sqrt{7}+1}{12} \cdot \begin{pmatrix} 4-\sqrt{7} \\ -3 \end{pmatrix} \\ &= \begin{pmatrix} 2 \\ 2 \end{pmatrix} + \begin{pmatrix} \frac{\sqrt{7}-1}{4} \\ -\frac{\sqrt{7}+1}{4} \end{pmatrix} \\ &= \begin{pmatrix} \frac{7+\sqrt{7}}{4} \\ \frac{7-\sqrt{7}}{4} \end{pmatrix} \end{aligned}$$

よって、 $A\left(\frac{7+\sqrt{7}}{4}, \frac{7-\sqrt{7}}{4}\right)$

別解 接点Aは、 ℓ と円Cの中心を通り ℓ に垂直な直線との交点より

ℓ と $y = -\frac{3}{4-\sqrt{7}}(x-2)+2 = -\frac{4+\sqrt{7}}{3}x + \frac{14+2\sqrt{7}}{3}$ を連立して

$$\frac{4-\sqrt{7}}{3}x = -\frac{4+\sqrt{7}}{3}x + \frac{14+2\sqrt{7}}{3}$$

$$\therefore (4-\sqrt{7})x = -(4+\sqrt{7})x + 14+2\sqrt{7}$$

$$\therefore 8x = 14+2\sqrt{7}$$

$$\therefore x = \frac{7+\sqrt{7}}{4}$$

$$\ell \text{より、} y = \frac{4-\sqrt{7}}{3} \cdot \frac{7+\sqrt{7}}{4} = \frac{7-\sqrt{7}}{4}$$

よって、 $A\left(\frac{7+\sqrt{7}}{4}, \frac{7-\sqrt{7}}{4}\right)$

別解 ℓ と円Cを連立して

$$(x-2)^2+(mx-2)^2=1$$

$$\therefore (m^2+1)x^2-4(m+1)x+7=0$$

ℓ と円Cが接するので、この方程式は重解をもつ。

$$\text{よって、} x = -\frac{-4(m+1)}{2(m^2+1)}$$

$$= \frac{2(m+1)}{m^2+1}$$

$$= \frac{2\left(\frac{4-\sqrt{7}}{3}+1\right)}{\left(\frac{4-\sqrt{7}}{3}\right)^2+1}$$

$$= \frac{3(7-\sqrt{7})}{4(4-\sqrt{7})}$$

$$= \frac{7+\sqrt{7}}{4}$$

$$\ell \text{より、} y = \frac{4-\sqrt{7}}{3} \cdot \frac{7+\sqrt{7}}{4} = \frac{7-\sqrt{7}}{4}$$

よって、 $A\left(\frac{7+\sqrt{7}}{4}, \frac{7-\sqrt{7}}{4}\right)$

(2) $y = \frac{3}{2}x$ と円Cを連立して

$$(x-2)^2+\left(\frac{3}{2}x-2\right)^2=1$$

$$\therefore 13x^2-40x+28=0$$

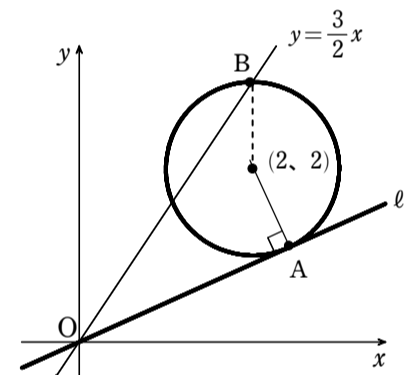
$$\therefore (13x-14)(x-2)=0$$

$$\therefore x = \frac{14}{13}, 2$$

x 座標が大きいほうがBより、 $B(2, 3)$ となる

よって

$$\begin{aligned} \triangle OAB &= \frac{1}{2} \left| 3 \cdot \frac{7+\sqrt{7}}{4} - 2 \cdot \frac{7-\sqrt{7}}{4} \right| \\ &= \frac{7+5\sqrt{7}}{8} \end{aligned}$$



参考 円Cの中心が(2, 2)で半径が1より、 $y = \frac{3}{2}x$ は円Cの中心の真上である(2, 3)

を通ることが計算しなくても分かる。

3 関数 $f(x) = \frac{1}{1+x^2}$ 、 $g(x) = \frac{x^2}{1+x^2}$ を考える。以下の問いに答えなさい。

- (1) 座標平面上の2つの曲線 $y=f(x)$ および $y=g(x)$ で囲まれる部分の面積を求めなさい。
- (2) $\alpha > 1$ とする。曲線 $y=f(x)$ 上に点 $P_1(\alpha, f(\alpha))$ を、曲線 $y=g(x)$ 上に点 $P_2(\alpha, g(\alpha))$ をとる。 P_1 における $y=f(x)$ の接線を l_1 、 P_2 における $y=g(x)$ の接線 l_2 とするとき、 l_1 および l_2 をそれぞれ求めなさい。
- (3) $\alpha > 1$ として、(2)の l_1 、 l_2 の交点の x 座標が $-\frac{11}{3}$ であるとき、 α の値を求めて、 l_1 、 l_2 および $x=\alpha$ で囲まれる部分の面積を求めなさい。

解説

(1) $f(-x) = f(x)$ 、 $g(-1) = g(x)$ より、 $y=f(x)$ 、 $y=g(x)$ とともに偶関数である。

$y=f(x)$ 、 $y=g(x)$ の交点より

$$\begin{aligned} f(x) &= g(x) \\ \therefore \frac{1}{1+x^2} &= \frac{x^2}{1+x^2} \\ \therefore x^2 &= 1 \\ \therefore x &= \pm 1 \end{aligned}$$

よって、 $-1 \leq x \leq 1$ において

$$f(x) - g(x) = \frac{1-x^2}{1+x^2} \geq 0 \text{ より}$$

$-1 \leq x \leq 1$ で $f(x) \geq g(x)$ となる。

したがって、求める面積を S とすると

$$\begin{aligned} S &= 2 \int_0^1 \left(\frac{1}{1+x^2} - \frac{x^2}{1+x^2} \right) dx \\ &= 2 \int_0^1 \frac{1-x^2}{1+x^2} dx \end{aligned}$$

$x = \tan \theta$ とおくと、 $dx = \frac{d\theta}{\cos^2 \theta}$

$x: 0 \rightarrow 1$ のとき、 $\theta: 0 \rightarrow \frac{\pi}{4}$ となるので

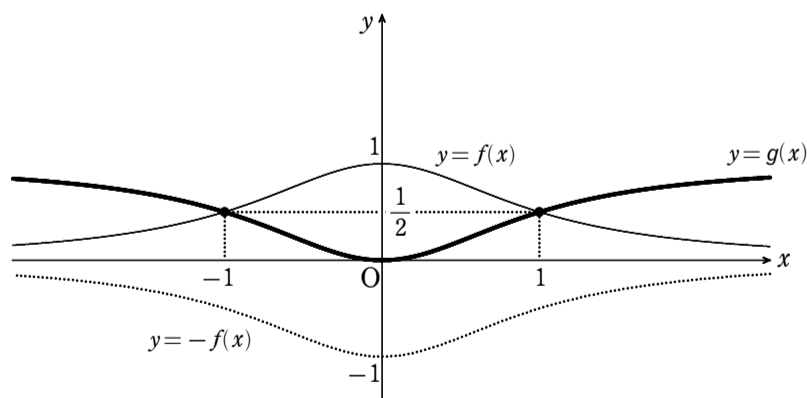
$$\begin{aligned} S &= 2 \int_0^{\frac{\pi}{4}} \frac{1-\tan^2 \theta}{1+\tan^2 \theta} \cdot \frac{d\theta}{\cos^2 \theta} \\ &= 2 \int_0^{\frac{\pi}{4}} (1-\tan^2 \theta) d\theta \\ &= 2 \int_0^{\frac{\pi}{4}} \left(2 - \frac{1}{\cos^2 \theta} \right) d\theta \\ &= 2 \left[2\theta - \tan \theta \right]_0^{\frac{\pi}{4}} \\ &= \pi - 2 \end{aligned}$$

参考 $g(x) = \frac{x^2}{1+x^2} = \frac{1+x^2-1}{1+x^2} = 1 - \frac{1}{1+x^2} = 1 - f(x)$

よって、 $y=g(x)$ は、 $y=f(x)$ を x 軸に関して対称移動したあと、 y 軸方向に $+1$ 平行移動したグラフになる。

$f'(x) = -\frac{2x}{(1+x^2)^2}$ より、 $x \geq 0$ で $f'(x) \leq 0$ より、 $x \geq 0$ で $y=f(x)$ は単調減少。

また、 $f(0)=1$ 、 $\lim_{x \rightarrow \infty} f(x)=0$ となるので、 $y=f(x)$ と $y=g(x)$ は以下のようなになる。



これより、 $y=f(x)$ と $y=g(x)$ は $y=\frac{1}{2}$ 対称と分かる。

(2) $f'(x) = -\frac{2x}{(1+x^2)^2}$ より、 $P_1(\alpha, f(\alpha))$ における接線 l_1 は

$$\begin{aligned} y &= -\frac{2\alpha}{(1+\alpha^2)^2}(x-\alpha) + \frac{1}{1+\alpha^2} \\ \therefore y &= -\frac{2\alpha}{(1+\alpha^2)^2}x + \frac{1+3\alpha^2}{(1+\alpha^2)^2} \end{aligned}$$

$g'(x) = \frac{2x}{(1+x^2)^2}$ より、 $P_2(\alpha, g(\alpha))$ における接線 l_2 は

$$\begin{aligned} y &= \frac{2\alpha}{(1+\alpha^2)^2}(x-\alpha) + \frac{\alpha^2}{1+\alpha^2} \\ \therefore y &= \frac{2\alpha}{(1+\alpha^2)^2}x + \frac{\alpha^4 - \alpha^2}{(1+\alpha^2)^2} \end{aligned}$$

(3) l_1 と l_2 の交点より

$$\begin{aligned} -\frac{2\alpha}{(1+\alpha^2)^2}x + \frac{1+3\alpha^2}{(1+\alpha^2)^2} &= \frac{2\alpha}{(1+\alpha^2)^2}x + \frac{\alpha^4 - \alpha^2}{(1+\alpha^2)^2} \\ \therefore -2\alpha x + 1 + 3\alpha^2 &= 2\alpha x + \alpha^4 - \alpha^2 \\ \therefore \alpha^4 - 4\alpha^2 + 4\alpha x - 1 &= 0 \end{aligned}$$

$x = -\frac{11}{3}$ より

$$\begin{aligned} \alpha^4 - 4\alpha^2 - \frac{44}{3}\alpha - 1 &= 0 \\ \therefore 3\alpha^4 - 12\alpha^2 - 44\alpha - 3 &= 0 \\ \therefore (\alpha-3)(3\alpha^3 + 9\alpha^2 + 15\alpha + 1) &= 0 \end{aligned}$$

$\alpha > 1$ のとき、 $3\alpha^3 + 9\alpha^2 + 15\alpha + 1 > 0$ より、 $\alpha = 3$

よって、 $P_1\left(3, \frac{1}{10}\right)$ 、 $P_2\left(3, \frac{9}{10}\right)$ となる。

これより、求める面積は

$$\frac{1}{2} \cdot \left(\frac{9}{10} - \frac{1}{10} \right) \cdot \left\{ 3 - \left(-\frac{11}{3} \right) \right\} = \frac{8}{3}$$

参考 (1)の参考より、 l_1 と l_2 の交点は $\left(-\frac{11}{3}, \frac{1}{2}\right)$ と分かるので、 l_1 に代入して α を求めてもよい。